

＜対策のポイント＞

農林水産・食品分野の成長産業化に向けて、（国研）農業・食品産業技術総合研究機構に基金を創設し、困難だが実現すれば大きなインパクトが期待される社会課題等を対象とした挑戦的な研究開発を推進します。

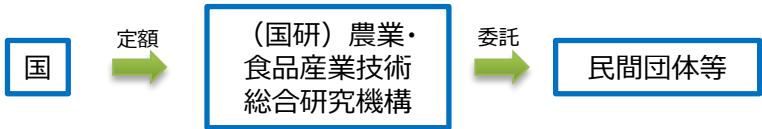
＜政策目標＞

未来の農林水産・食品分野の産業創造や社会変革を実現する研究成果の創出 [2050年まで]

＜事業の内容＞

- 中長期にわたる研究開発を弾力的かつ安定的に実施するため、（国研）農業・食品産業技術総合研究機構に基金を創設し、農林水産・食品分野における困難だが実現すれば大きなインパクトが期待される社会課題等を対象とした目標を設定し、その実現に向けた様々な研究アイデアを結集した研究開発を推進します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

【想定される研究目標（例）】

① 農林水産業の完全自動化を実現

農作業を精密に遂行する完全自動・無人化システムを構築し、生産性の飛躍的な向上や農業技術の海外展開を図る。



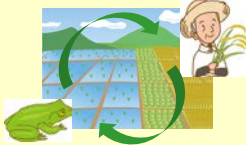
② 食品廃棄・損失のない社会の実現

適時適量生産が可能なスーパー品種の開発、食品残渣や農林水産副産物の飼料・肥料等としてすべて活用可能なシステムの確立等を図る。



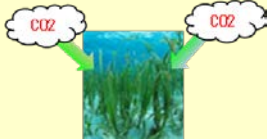
③ 生物多様性を増大させる農業を地球規模で実現

肥料や農薬に頼らない究極の持続農法を確立し、農業生産活動と生物多様性の維持・増大との両立を図る。



④ 温室効果ガスの完全吸収源化を実現

C O₂の吸収能力を高めたスーパー水生植物の開発によるブルーカーボンの創出等、農林水産業全体での温室効果ガスの吸収源化を図る。



⑤ 食による若返りを実現

加齢による衰えを予防し、若返りの細胞（間葉系幹細胞）を活性化することで生涯現役を実現する食を開発する。

